▲パネルディスカッションの様子

に議員による研究会を発足しました。四月五日には、四町で合併に関する合同勉強会で郡の合併問題研究会が行った調査、研究結果を聞きましたが、いまだ結論は出ておりません。皆さんのもとで協議をして行き、将来よかったという選択をしたいと考えております。

松村　合併が地域住民にどのような経済効果を生み、どのようなことが可能となるかを紹介させていただきます。委託を受けた合併パターンは、羽島郡が合併する対等合併と岐阜市、羽島市、各務原市に編入される吸収合併です。合併の原則は過去の実例から、基本的には、行政サービスは、最高の自治体に、負担は、最低の自治体に調整されています。一方、行政経費は、市町村合併によって、効率的な運営が可能となり羽島郡で合併した場合、年間約八億円節約できることになります。また、国の財政支援を約三百六十億円受けることができます。一つの町では、できない大きな仕事も合併により、力を合わせれば、可能になります。例えば、JR新駅整備構想、笠松競馬場跡地のカルチャーパーク構想が考えられると思います。

小栗　今、何故合併が必要なのか、このままで良いのではないかという疑問を持ちました。正直に言って合併反対でした。理由は、笠松町の良さがなくなるのではないのか。私たちの意見が反映されにくくなるのではないのか。また、市役所が遠くなり不便になり、税金も高くなるのではと、漠然とした不安を感じました。しかし、笠松町は、競馬場の収益が入らない。また、財政が悪化していると聞いて、考えなければならないということで、ドキッとしました。今は良くても二十年、三十年後はどうなるのかと大きな決断をしなければならないと感じました。

そこで、質問をさせていただきます。

一、合併する場合、防災行政無線、町民バスおよび街路灯は、続けられるのでしょうか。

二、笠松町は、文化の高い町と自負していますが、文化施設が早く建設されるのでしょうか。

三、私たち町民が合併反対として決断したら、どんな問題が出るのか、どうしたらよいのでしょうか。

松村　最初の質問ですが、合併協議会で具体的に全てを協議して、合意を得て決められます。二つ目の文化施設については、「市町村建設計画」を打ち出しておけば、十年以内に必ず建設するという約束になります。

平光　民意の反映については、合併前の旧市町村の区域ごとに、「地域審議会」を設置して、意見を述べることができます。合併に反対した場合ですが、市町村によって財政がどうなるのかをよく判断していかなければなりません。

後藤　私は、市町村合併については、避けられない問題であると認識しています。四町が合併すれば大きな事業ができるのではないかと思っていますので、四町合併が一つの選択肢と考えています。岐阜市との合併は、現段階では先送りして良いのではないかと思います。

会場からの質疑

①競馬場をなくすような発言がありますが、町長さんの意見をお聞きしたい。

②「合併協議議会」や「地域審議会」に民意が反映されるのか。構成メンバーに自分たちが入ることができるのでしょうか。合併するか否かは、住民投票になるのか、議会が決定していくのでしょうか。

③笠松町の財政状況や岐阜市などの財政状況をもっと情報提供していただきたい。

平光　合併協議会のメンバーは、合併特例法に書かれております。地域審議会の委員につきましては、学識経験者が上げられ、住民代表となるので、民意が反映されます。

広江　競馬場の問題につきましては、なくして行くという話ではなく、シンクタンク（専門家の組織）が一つの案を述べているだけです。競馬組合としても、経営改善に努めています。合併問題につきましては、町では、皆さんのご意見を反映させるため、今後十六カ所で説明会※を開催する予定です。岐阜市などの財政資料を持って行きますので、ご意見をお聞きしたいと思いますし、皆さんで議論していただきたいと考えています。合併は、笠松町民が、主体的に判断することであり、皆さんの将来のために冷静かつ理論的に話をしていきたいと考えています。

※まちづくり地域懇談会として六月十日より町内十六カ所で順次開催中。

▲さまざまな質問や意見が出されました（コミュニティ消防センターでのまちづくり地域懇談会の様子）